

知的財産の創造、保護及び活用に関する
推進計画（案）の概要
（主要 8 項目）

| | | |
|---|----------------------|-----|
| 1 | 大学における知的財産の創造・保護・活用 | 1 頁 |
| 2 | 特許審査迅速化法（仮称）の制定 | 3 頁 |
| 3 | 医療関連行為の特許保護 | 4 頁 |
| 4 | 知的財産高等裁判所の創設 | 5 頁 |
| 5 | 偽物対策や水際措置の抜本的強化 | 6 頁 |
| 6 | 国際標準に対応した特許の取得・活用 | 7 頁 |
| 7 | コンテンツビジネスの振興 | 8 頁 |
| 8 | 知的財産に重点を置いた法科大学院等の設置 | 9 頁 |

平成 1 5 年 6 月 2 0 日

1 大学における知的財産の創造・保護・活用

(1) 大学の知的財産活動の強化

知的財産の創出

知的財産の
創出を重視し
た研究開発

知的財産の
取得・活用を
評価に反映

ルールの明確化

特許権は
原則として大
学に帰属

営業秘密
の管理

体制・機能の強化

特許関連費用の充実

大学知的財産本部を
設置

技術移転機関(TLO)
を支援

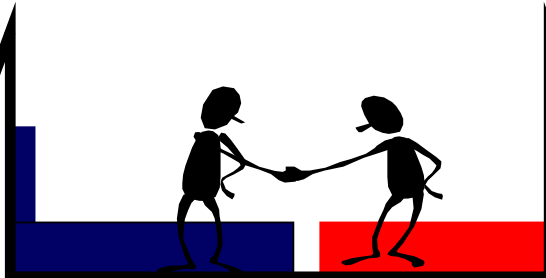
民間人材(目利き)
の活用

1 大学における知的財産の創造・保護・活用

(2) 大学等の保有する特許の効果的な活用

大学・研究機関等

知的財産の
創造



大学知的財産本部

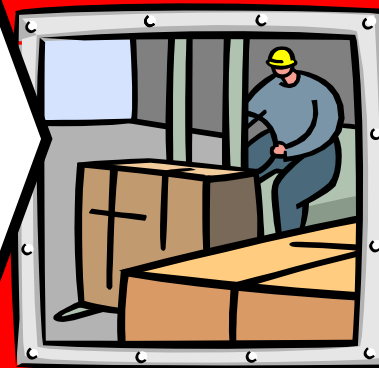
技術移転機関(TLO)

知的財産に関する総合的な
体制整備・機能強化

大学発ベンチャー育成等

産業

事業化



2 特許審査迅速化法(仮称)の制定

課題

大量の滞貨

約80万件

総合的対策

- 外部人材の活用による任期付審査官の大幅増員()
- 審査補助職員の活用
- 先行技術調査の外部発注

()総務省・財務省と調整中

世界最高レベルの審査

3 医療関連行為の特許保護

1. 医療特許は「三方一両得」

| | |
|--------|----------------|
| 患者 | より先進的な医療を受けられる |
| 医者 | 患者の期待に応えられる |
| 研究者・企業 | 医療技術の進歩を促進する |

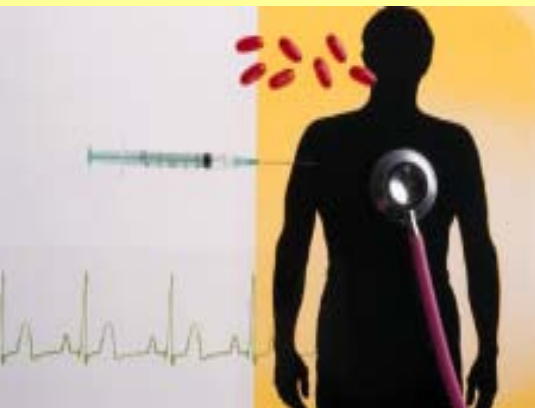


2. 医療特許への心配？

安全性は？

医師の医行為等が特許侵害とならないか？

影響を及ぼさないよう十分配慮する



4 知的財産高等裁判所の創設

1. 目的

判決の統一 (判決の予見可能性確保)

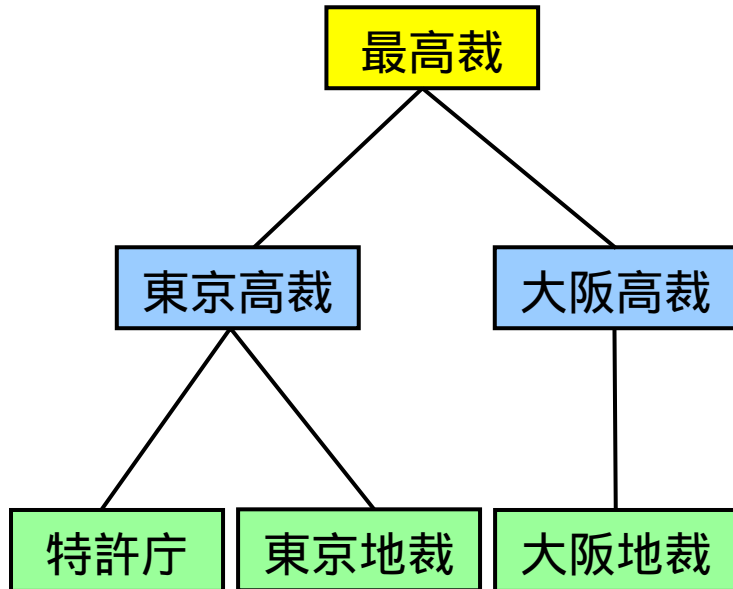
専門性の向上

国内外に対する知財重視の政策表明

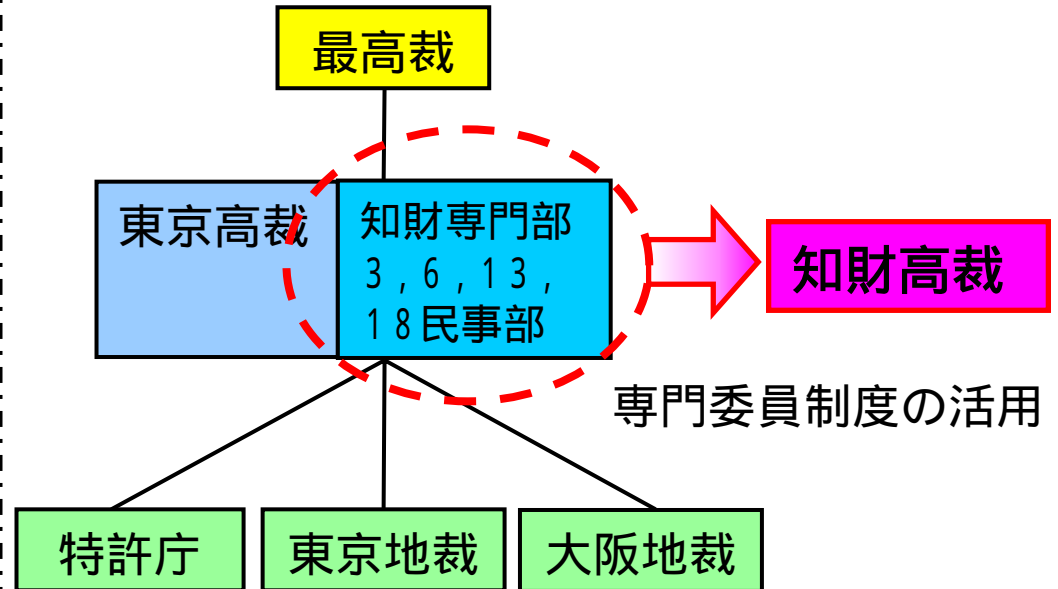
(アジアの中核的知財高裁を目指す)

2. 組織

現状

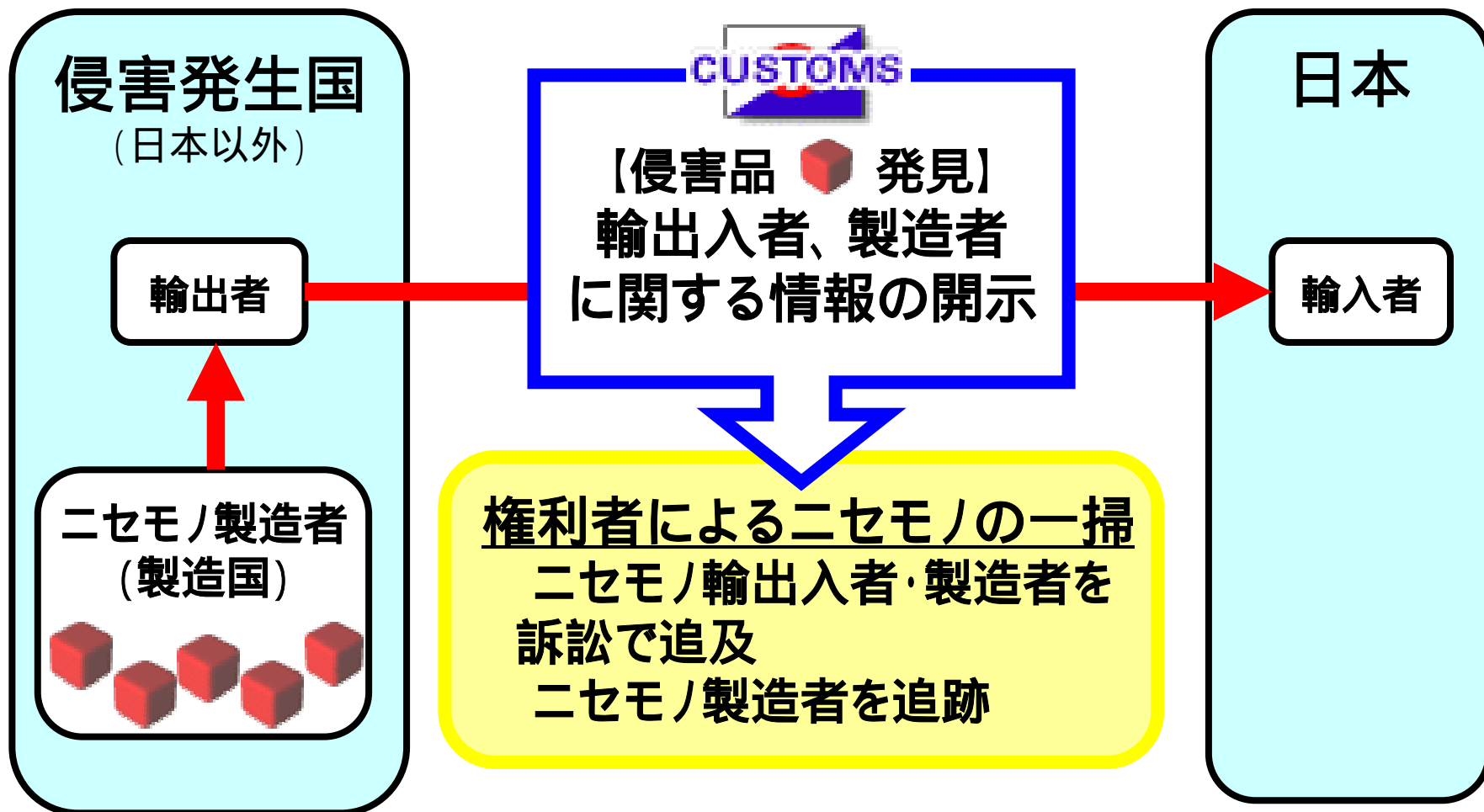


今回の民訴法改正後

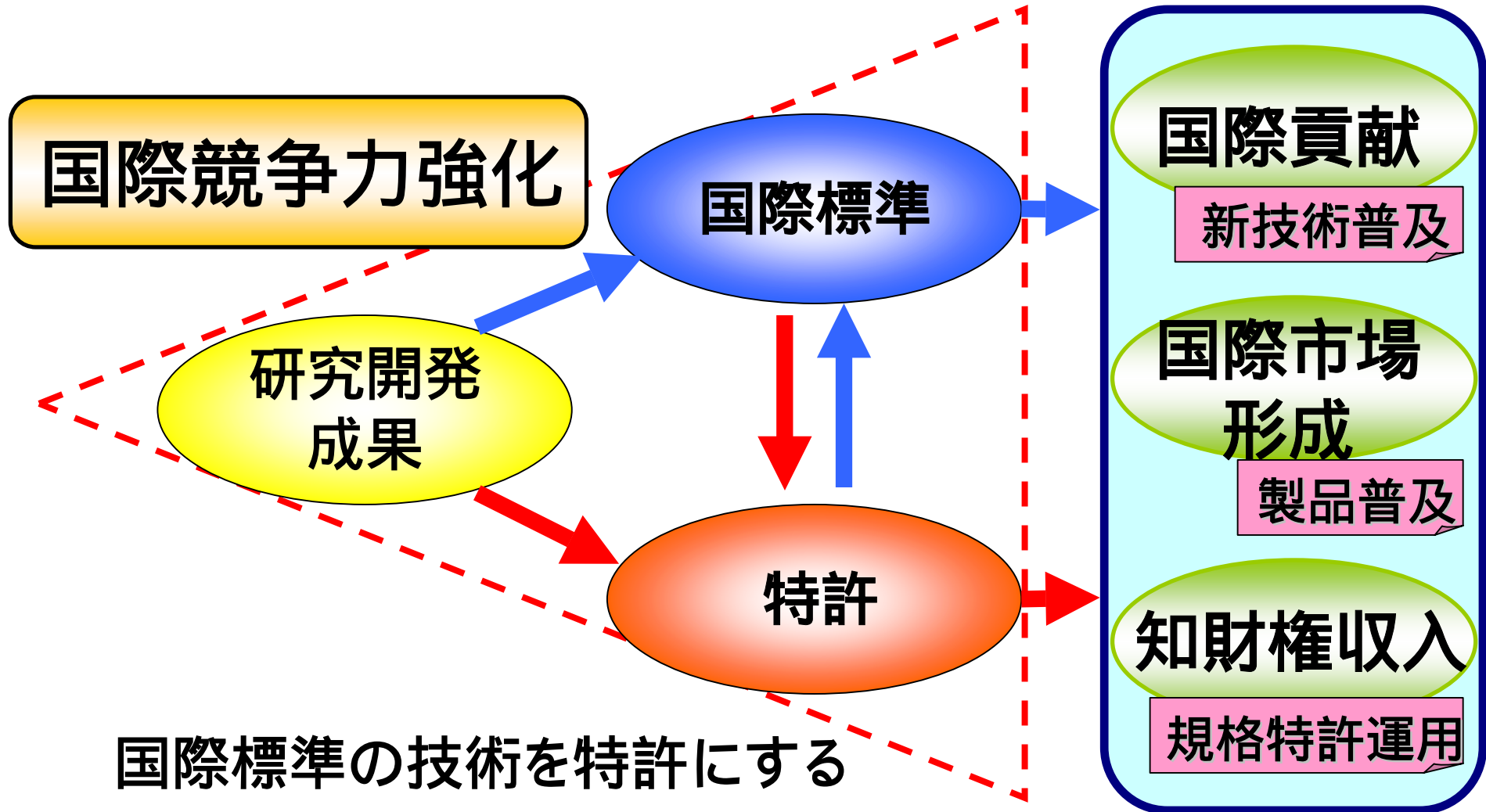


注) 東京地裁、大阪地裁は他の地裁と競合管轄

5 偽物対策や水際措置の抜本的強化 < 税関から権利者への情報の開示 >



6 国際標準に対応した特許の取得・活用



国際標準の技術の特許にする

特許技術を国際標準にする

7 コンテンツビジネスの振興

— 映画、アニメ、ゲームソフトの著作物等による事業の展開 —

魅力あるコンテンツの

創造

- 制作者やプロデューサー等
人材の育成
- 商品ファンドの活用等
資金調達の多様化

「知的創造サイクル」を意識した

保護

- コピー防止等の
技術的保護促進
- 著作権法等による
適切な権利保護
- 海賊版対策

市場拡大へ向けた

流通促進

- 海外市場進出支援
- 映画や放送業界の
取引適正化
- 放送番組等の
二次利用促進

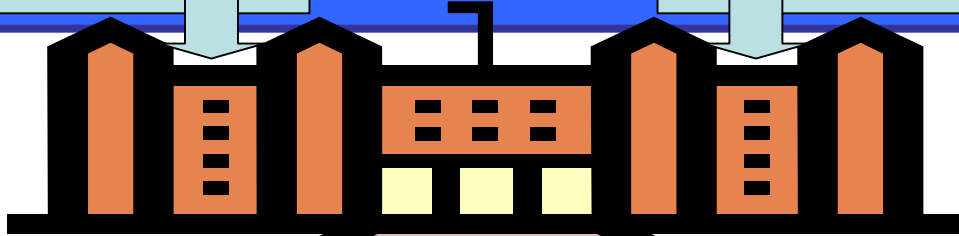
11兆円コンテンツビジネスを飛躍的に拡大

8 知的財産に重点を置いた法科大学院等の設置

理工系学生

入学者

社会人学生



実務経験者教員
の充実

・知的財産を重視したカリキュラム
・技術と法律に強い人材の育成

魅力ある夜間講座
の充実・強化
(一流教員の充実)

知的財産に強い法曹

